

## #編集後記 希望の力

めっきりスポーツの試合を観ることが減った今年ですが、先日とても感動的な試合がありました。

東京オリンピック柔道男子66kg級の日本代表を決める、丸山城志郎選手と阿部一二三選手の試合です。なんせ、どちらにしてもオリンピックの金メダル候補です。

その日本柔道界史上、初のワンマッチで五輪代表を決定する両者の試合は、24分に及ぶ歴史に残る死闘となりました。

阿部選手が勝負を決めた最後の場面。しぶとく攻めた阿部選手の大内刈りに丸山選手は最後の最後までブリッジで必死にこらえました。東京オリンピックにかける気持ちと気持ちの戦いだったと思います。アスリートにとって、オリンピックは他に代え難い希望の舞台なのだと改めて思い知った気がします。



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail [avenir4you@gmail.com](mailto:avenir4you@gmail.com)



オリンピック絡みでは他にも嬉しいニュースがありました。(^^)/

白血病からの完全復活を目指す競泳女子の池江璃花子さんが、年明けの1月10日に東京辰巳国際水泳場で行われる東京都新春競技会の100メートル自由形に出場するとのこと。

今年の7月23日の国立競技場で開かれた東京五輪開幕1年前イベントの池江璃花子さんのメッセージは心に残るものでした。



**逆境からはい上がっていく時には、どうしても、希望の力が重要だということです。**

**希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。**

**私の場合、もう1度プールに戻りたい。その一心でつらい治療を乗り越えることができました。**

**世界中のアスリートと、アスリートから勇気をもらっているすべての人のために。**

**1年後の今日、この場所で、希望の炎が、輝いてほしいと思います。**



強制収容所から奇跡的な生還を果たしたユダヤ人の精神科医、心理学者のヴィクトール・フランクルはその著書の中で、「**希望には、人を生かす力も、人を殺す力もある**」と著しました。

僕は、「**エンゲージメント**」という言葉をよく使います。直訳すると「約束」・「誓い」ということになるのですが、人事労務におけるエンゲージメントとは、会社や仕事に対する、**絆や愛着、思い入れ**を感じてもらふこと。エンゲージメントを高めることで、社員は精神的な健康を保ちながら働くことができます。

とりわけ先がなかなか見えない今のコロナ禍においては、経営者が社員に対し、未来に希望を持てる言葉を伝えることは、「エンゲージメント」のよい機会につながります。

密集を避けたいコロナ禍なので新年の**年頭所感**などを簡略に済ます会社もあるかもしれませんが、こんな時だからこそ、何らかの形で未来に希望を持てるメッセージを社員の方に伝えてくださいね。

誰だって希望があればこそ頑張れます。逆に希望の喪失は、生きていく(働く)力の喪失だと思うのです。

よりよい会社に  
したいのよ!



冒頭の丸山選手と阿部選手の歴史的な試合を裁いた審判は、自身も柔道七段の天野安喜子さんという女性でした。主審としてこのなんとも難しい試合を、毅然とした態度で冷静に裁きました。

昔、一世を風靡した「柔道一直線」というドラマの主題歌に『**柔の道に命を懸けた男の意地が火ともえる**』という歌詞があったくらい、男の世界だった柔道の世界での活躍です。

同時に、天野さんには創業350年以上を誇る江戸花火の宗家「鍵屋」の15代目という意外な一面もあるそうです。( @\_@ )

僕がこの編集後記に使わせていただいている「**フリーイラスト素材集いらすとや**」のサイトには、柔道の審判員にしても花火師にしても男性のイラストしかありませんでした。きっと天野さんの活躍も、まだまだ女性の活躍が少ない分野等において、後に続く女性の「希望の力」になることと思います。(^^)/

